

E P O 中部運営業務

令和 5 (2023)年度 業務実施計画



中部環境パートナーシップオフィス運営業務 令和5年度（2023年度）業務一覧

EPO 中部／中部地方 ESD 活動支援センター

緑色：EPO 業務／水色：ESD 業務／朱色：地域循環共生圏業務／黄色：運営業務

※中部地方環境事務所、EPO は業務全体に関わる

年度目標

最新の環境施策への対応と、ローカル SDGs 実践の地域支援の拠点として、次なるフェーズに向けた EPO 中部の地域支援機能の強化に取り組みます。

(1) 業務実施計画の作成

事務 業務実施計画の作成・公表

(3) 基本業務

事務 照会・相談対応、対話の体制の構築、定例報告、施設の維持管理
ツール HP 更新・維持管理、情報発信、リーフレット配布

(8) 関係主体との連携及び協働に関する業務

事務 定例打合せ・業務報告
外部評価委員会への対応
白書を読む会の企画協力、運営サポート
全国ユース環境活動発表大会への参画（審査委員の選定）
記者発表対応（記者発表資料等の作成）
EPO・GEOC・全国 ESD センターのネットワーク活用・連携強化（関連会議・会合への出席）

(5) 域循環共生圏の創造に資するための推進業務

取組 プラットフォームの環境整備支援、ヒアリングの実施
催事 中間共有会の開催
催事 ステークホルダーミーティングの後方支援
取組 事業化支援団体の活動の情報共有
取組 卒業団体のフォローアップ調査（ヒアリング）
催事 身近な自然資本活用に関する意見交換会の開催
催事 グリーン社会実現に向けた SH 連携促進事業（情報交換会等の開催）
事務 GEOC 主催会合への参加、情報共有

(10) 外部資金を活用した事業

○地球環境基金 【発注主体】環境再生保全機構
○愛知県コーディネート業務 【発注主体】愛知県

事務 (9) 業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務

(4) 協働取組の促進のための業務

催事 地域ネットワークを活用したフォーラムの開催
催事 ローカル SDGs/ 地域循環共生圏グループワーキング
催事 活動主体等との情報・意見交換会の実施
取組/ 催事 協働コーディネーターと連携した実践的な取組（北陸・信越）
ツール 活動見える化プログラム活用による活動主体へのフィードバック

(7) ESD/EPO 行事を通じた行動変容の把握

取組 行動変容の把握（行事参加コアメンバーへの簡易ヒアリング）
取組 地域循環共生圏及びローカル SDGs 実践状況等の評価

(6) 地方 ESD 活動支援センター業務

事務 第6期中部地域 ESD 推進計画に基づく施策展開
催事 ESD 推進ネットワーク地域フォーラムの開催
催事 SDGs 学生サミットの開催
催事 自然資産を活かした地域・人づくり ESD ダイアログの開催
取組/ 催事 学び合いプロジェクト：①活動計画の作成、②参加者募集、③学び合いの実施、④実践活動の実施、⑤全国フォーラムで報告
ツール 「(仮) 中部版 ESD ワークブック」の公表
事務 地域 ESD 拠点等の活動支援、全国センターとの連携協力・関連会議への出席、地域循環共生圏への考慮
事務 教育現場等の実態把握ヒアリング（専門家、教育関係者、中小企業）

環境省
中部地方
環境事務所

GEOC

全国ESDC

(2) ESD/EPO
運営委員会
の設置・開催
会議

第6期
目標

アフター・コロナ、地域循環共生圏づくり・SDGs 活用が進みつつある中部エリアにおいて、新フェーズに対応し、地域が必要とする協働・ESD・SDGs の実装・実践のための支援と、誰も取り残されないターゲット設定、EPO 機能強化の関係構築に取り組みます。

2023年度業務スケジュール案

仕様書業務項目		業務内容	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 業務実施計画の作成		業務実施計画、達成目標の作成・公表	原、富田	作成		運営委員会への提示	修正	公開								
2 運営会議		ESD/EPO運営委員会の設置・開催【オンライン、2回】	清本、原、富田、小松	資料作成、開催準備・調整		運営委員会1開催	開催結果とりまとめ	公開			資料作成、開催準備・調整		運営委員会2開催	開催結果とりまとめ→公開		
3 基本業務	3-1	ホームページ(EPO/ESD)の更新・維持管理	富田、小松	月2回以上の更新を適宜実施												
	3-2	収集・整理・蓄積した情報の発信(メールマガジン配信、月1回)	小松	月1回以上の配信を適宜実施												
	3-3	リーフレットの配布	富田、小松	イベント等で配布												
	3-4	照会・相談対応、対話の体制の構築、施設の維持管理	清本、原、富田、小松	適宜実施し、記録及び報告												
	3-5	定例報告	富田、小松	毎月初めに報告資料を集計・作成、提出												
4 協働取組の促進のための業務	4-1	地域ネットワークを活用したフォーラム開催【1回(3時間)】	清本、富田	各連携主体にヒアリング ↓ 企画案等を作成		運営委員会に諮る	関係地域・団体との調整、企画・準備			フォーラム開催				運営委員会に報告		
	4-2	北信越の協働コーディネーターとの連携による実践的な取組【2回(各2時間)】	清本、原				連携する協働コーディネーターとの調整			フォーラム開催	関係地域・団体との調整・準備	フォーラム開催				
	4-3	活動主体へのフィードバック(活動の見える化プログラムの活用)【2事例】	原					ヒアリング	見える化チャート作成	フィードバック	WEBへの公開作業					
	4-4	活動主体等との情報・意見交換会【1回(2時間)】	清本、富田				協働コーディネーターとの調整			意見交換会開催						
	4-5	ローカルSDGs/地域循環共生圏グループワーキング【1回(3時間)】	清本、富田				企画案作成			関係者との調整、準備			ワーキング開催			
5 地域循環共生圏の創造推進業務	5-1	プラットフォーム(PF2団体)支援:ヒアリング、月1回以上の連絡等	富田	各PFにヒアリング実施	とりまとめ報告	各団体のサポート計画(スケジュール・意向等)に応じて適宜支援						次年度展開の打合せ	運営委員会に報告			
	5-2	PF2団体のステークホルダーミーティング開催の後方支援	富田	実施方法等についてPFと調整			PF2団体それぞれで意見交換会開催									
	5-3	中間報告会【1回(2日間)】	清本、富田			実施日・場所・方法等について関係者と調整	企画案作成	準備	中間報告会の開催							
	5-4	事業化支援団体の活動の情報共有	清本、富田	必要に応じて適宜参加、情報共有			キックオフM							成果共有会		
	5-5	環境省・GEOC主催会合への参加:キックオフM、作業部会【2回】、共有会、事業形成会議、成果共有会	清本、富田	適宜参加												
	5-6	卒業団体のフォローアップ調査:ヒアリング【1件】	富田			運営委員会に諮る	依頼	ヒアリング実施	結果とりまとめ							
	5-7	身近な自然資本の活用に関する意見交換会【2回】	清本、富田	関係主体へのヒアリング・調整等			運営委員会に諮る	関係者との協議・調整		企画案作成	準備	意見交換会①の開催		準備	意見交換会②の開催	
	5-8	SH連携促進事業【4回】	清本、富田					各会合の関係者との協議・調整/企画案作成		準備	会合①	会合②		会合③	会合④	
	5-9	GEOC主催事業検討会議【1回】への参加	清本、富田	適宜参加												
全業務の実施結果のとりまとめ/年間報告書の提出																

全業務の実施結果のとりまとめ/年間報告書の提出

2023年度業務スケジュール案

仕様書業務項目			業務内容		担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
6 中部地方 ESD活動 支援セン ター運営 業務	6-1	第6期ESD推進計画に基づく施策	原	第6期中部地域ESD推進計画に基づき適宜実施																	
	6-2	地域ESD拠点等の活動支援	原、小松	適宜対応																	
	6-3	ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回(半日)】、ポスター作成	清本、原、小松	企画案作成		運営委員会に諮る	関係機関との調整・準備		フォーラム開催												
	6-4	SDGs学生サミット【1回(半日)】、チェックリスト等の活用	清本、原、小松	企画案作成			関係機関との調整・準備										学生サミット開催				
	6-5	自然資源を活用した地域・人づくりESDダイアログ【1回(2時間)】	清本、原、小松	企画案作成			ジオパーク関係者との調整・準備										ESDダイアログ開催				
	6-6-1	交流機会提供:活動計画の作成、交流者の参加募集、全国フォーラム結果報告	原、小松	①活動計画の作成			②参加募集						⑤全国フォーラム報告								
	6-6-2	学び合いの実施;学び合いの場【2回】、SDGs社会教育WG【3回】、実践活動	清本、原、小松	関係者との調整			④WG 1	準備		③学び合い 1・2			⑤実践活動	④WG 2	④WG 3						
	6-7	「(仮)中部版ESDワークブック」の作成・公表	原	ワークブック原稿の内容、活用・公開方法の検討										検討	④WG 2	⑤実践活動		④WG 3	原稿作成	ワークブック公開	
	6-8	教育現場の実態把握と連携強化:専門家【1名(2時間)】／教育関係者【2回(各2時間)】／中小企業経営者【2回】	清本、原	業務関係者の専門家・教育関係者・中小企業等へのヒアリング実施										とりまとめ							
	6-9	全国センターとの連携協力(地域循環共生圏への考慮)	清本、原	適宜実施																	
	6-10	全国ESDセンターとの連携:作業部会【2回】、全国連絡会【2回】、全国フォーラム【1回】に出席・参加	清本、原	適宜出席・参加																	
7 行動変容 の把握	7-1	行動変容の把握:行事参加者へのヒアリング(3月中旬までに)【6事例】	清本、原、富田	業務の連携・協力者6団体へのヒアリング、結果とりまとめ														運営委員会2に報告			
	7-2	SDGs実践状況等の評価【試行2事例】	原	計画案作成		運営会議1に諮る	2事例で試行的に実践										指標物語チャート作成	WEBへの公開作業		運営委員会2に報告	
8 関係主体との連携 及び協働 に関する 業務	8-1	事務所担当官と業務の責任者として定期的な打合せ、日々の業務を毎月報告	清本、原、富田、小松	適宜実施(月1回以上の打合せ、月次報告)																	
	8-2	外部評価委員会への対応	原、富田	資料作成等の対応										外部評価委員会							
	8-3	白書を読む会の企画、広報、運営サポート協力【1回(3時間)】	富田	主催者との調整、協力事項確認		主催者側のスケジュール等に応じて適宜実施					白書を読む会開催										
	8-4	全国ユース中部大会に参画【1回】、審査委員の選定	清本	審査委員の推薦					中部大会に参画												
	8-5	記者発表等報道対応	原、富田	適宜実施																	
	8-6	GEOC主催PSTF会合【1回】／全国EPO連絡会議【3回】／情報交換会【1回】への参加・出席	清本、富田	適宜参加・出席等対応																	
9	業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務		小松、小栗	適宜実施																	
10	外部資金を活用した事業;地球環境基金／愛知県環境学習コーディネート業務		清本、小栗、小松、服部	環境再生保全機構、愛知県環境学習プラザと連携して適宜実施																	
成果物の提出:第1～3四半期報告書、第6期概要報告書、年間報告書(及び概要版)			原、富田、小松					第1四半期報告書提出				第2四半期報告書提出		第6期概要報告書提出		第3四半期報告書提出		年間報告書提出			

全業務の実施結果のとりまとめ／年間報告書の提出

EPO中部令和5年度事業アウトプット目標等一覧

仕様書業務項目			業務内容(イベント:オンライン活用・併用)	担当	外部関係者とその役割	インプット(仕様書、計画書)		アウトプット(指標)		アウトカム		備考	
						催事、情報発信	調査、研究、作成、支援	コンテンツ等、情報の発信、記録	設備・システム・知見など	参加者(数)、対象者(数)など	アウトカム指標(アウトプット評価に加え)		アウトカム(予想される成果)
1	業務実施計画の作成		業務実施計画、達成目標の作成・公表	原、富田	・外部有識者:必要に応じて助言		・令和5年度の業務実施計画の作成 ・アウトプット、アウトカム目標、指標の検討	・令和5年度業務実施計画書 ・令和5年度アウトプット・アウトカム目標一覧表			・担当官、運営委員会等関係者による当年度EPO中部ESDC計画としての内容の十分な認知 ・各指標による評価の実施と説明による、担当官、運営委員等の理解	・令和5年度業務遂行計画として事業推進の内容の見える化 ・それぞれの業務についてのアウトプット、アウトカム評価可能性確保	
2	運営会議		ESD/EPO運営委員会の設置・開催【オンライン、2回】	清本、原、富田、小松	・外部有識者:運営委員として議論参加、助言	・ESD/EPO中部運営会議(2回オンライン開催)	・9名程度の運営委員(6～3級相当)で構成 ・年1回以上、委員の情報(役職、所属)に変更がないか確認 ・運営委員に業務参画を促すための進捗状況情報を適宜提供	・会議資料、議事録		・各回7名以上の参加	・業務に活用された運営委員による有用な意見(議事録) ・業務に運営委員の積極的な参画を得た知見の活用(業務記録)	・運営委員より有用な意見をいただき業務への積極的な参画を得ることによる効果的な活動を展開への寄与	
3	基本業務	3-1	ホームページ(EPO/ESD)の更新・維持管理	富田、小松	・専門業者:相談(管理問い合わせ等)		・HPの更新	・HPのページ更新(月2回以上)		・ページビュー数(昨年度同水準以上)	・更新されたHPIに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・HPによるEPO、ESDCの認知の拡大と好感度の向上	
		3-2	収集・整理・蓄積した情報の発信(メールマガジン配信、月1回)	小松			・メールマガジンの作成・発行 ・SNSによる情報発信	・メールマガジン(月1回以上) ・SNS記事		・情報発信回数(昨年度同水準以上)	・情報発信頻度の維持、拡大 ・コンテンツに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・EPO、ESDCの認知の維持、拡大 ・好感度の向上、掲載情報利用の拡大	
		3-3	リーフレットの配布	富田、小松	・印刷:外注(必用に応じ)		・リーフレットの配布(印刷は必要に応じ)	・リーフレット(必用に応じて情報更新A4フルカラー必要部数)		・配布数(昨年度同水準以上)	・配布部数の増加、リーフレットに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・リーフレットによるEPO中部ESDCの認知の拡大と好感度の向上	
		3-4	照会・相談対応、対話の体制の構築、施設の維持管理	清本、原、富田、小松	・外部の様々な活動団体:活動等参加先	・相談・照会対応と助言、実施内容の記録 ・各種協議会や地域活動等への参加と情報収集。マッチング支援や助言 ・ニーズに応じた講師等派遣 ・(他団体主体の)審議会、委員会、検討会、会議等への参加	・相談対応票 ・協議会、地域活動、支援等の参加記録 ・講師派遣の記録 ・(他団体主体の)審議会、委員会、検討会、会議等の一覧	・良好な施設空間環境の維持	・紹介・相談件数 ・資料収集数、参加件数 ・講師等派遣回数、対象人数 ・審議会、委員会、検討会、会議等の関係人数	・全体件数の増加、助言に対する実績 ・記録件数の増加 ・講師派遣件数、対象者人数の増加 ・参加する審議会、委員会、検討会、会議等の件数の増改、関係人	・紹介・相談による環境保全活動等への貢献 ・関連する情報の集積、連携・協働体制の構築、ノウハウの蓄積の推進 ・各種の審議会、委員会、検討会、会議等の情報収集、関係主体への		
		3-5	定例報告	富田、小松			・業務日報等の関連文書の作成と報告	・業務日報等の文書			・事務所担当官の状況把握と理解	・事務所担当官の状況把握と理解による全体業務の円滑な運営	
4	協働取組の促進のための業務	4-1	地域ネットワークを活用したフォーラム開催【1回(3時間)】	清本、富田	・協働コーディネーター、地域関係者との連携	・フォーラム(オンライン可、1回、3時間、30名程度)		・開催記録		・参加者30名程度	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
		4-2	北信越の協働コーディネーターとの連携による実践的な取組【2回(各2時間)】	清本、原	・協働コーディネーター、地域関係者との連携	・実践的取組(必用に応じてオンライン、2回程度、各2時間程度、30名程度)		・開催記録		・参加者各30名程度 ・中間支援団体等との連携協働実績	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
		4-3	活動主体へのフィードバック(活動の見える化プログラムの活用)【2事例】	原	協働コーディネーター、地域関係者との連携		・活動内容のヒヤリングと活動見える化プログラム分析	・分析票(2事例) ・分析チャート(2事例)			・分析対象主体や関係者の感想、意見	・分析対象主体の取組構造とSDGs貢献の意義の認識の向上	
		4-4	活動主体等との情報・意見交換会【1回(2時間)】	清本、富田	協働コーディネーターの参加	・情報・意見交換会(1回、2時間程度、10名程度、状況に応じてオンライン開催)		・開催記録		・参加者各10名程度	・参加者の感想、意見	・意見交換による情報共有と動機づけによる活動意欲の向上	
		4-5	ローカルSDGs/地域循環共生圏グループワーキング【1回(3時間)】	清本、富田	・NPO、基礎自治体、事業者等	・グループワーキング(1回、3時間程度、20名程度、講師1名(大学教授級)、状況に応じオンライン開催可)		・開催記録		・参加者20名程度、学識者1名参加	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
5	地域循環共生圏の創造推進業務	5-1	プラットフォーム(PF2団体)支援:ヒアリング、月1回以上の連絡等	富田	・採択団体、過年度採択団体、取組関係者、GEOC		・伴走支援(月1回以上の採択団体との電話やオンライン会議等による連絡、関係者との調整支援、会議運営にかかる助言、人材育成の支援、採択団体がマンダラ作成を通じて行う課題整理・協働取組の各過程の支援、事業発掘のプロセス支援などを実施)の提供 ・登録団体や過年度の採択団体への地域循環共生圏づくりに資する情報提供 ・活動(継続)団体の事業目標及び年間計画など伴走支援に必要な事項のヒアリングと計画修正支援、ヒアリング結果及び全団体支援計画等のGEOCへの提出	・伴走支援の記録(各団体月1回以上) ・登録団体の事業目標及び年間計画等ヒアリング結果 ・全団体支援計画等(GEOC提出)	・地域循環共生圏取組みの伴走等支援についての知見	・環境整備のプロセスにかかる支援(2団体) ・各団体との連絡調整(月1回以上)	・各団体の構成員、担当官、専門家等の関係者のご意見や感想	・各団体の取組意識、取組行動の深化 ・地域循環共生圏の取組に対する適切な伴走支援方法とその効果についての知見の蓄積	
		5-2	PF2団体のステークホルダーミーティング開催の後方支援	富田	・採択団体、取組関係者、GEOC	・各活動団体が行う環境整備を推進するためのステークホルダーミーティングの後方支援	・開催結果を取りまとめとGEOCへの報告	・開催記録		・ステークホルダーミーティング開催実績	・参加者の意識、ご意見や感想(アンケート、ヒヤリング)	・地域循環共生圏の取組理解の深化、出口戦略への意識化	
		5-3	中間報告会【1回(2日間)】	清本、富田	・採択団体、過年度採択団体、取組関係	・中間共有会(1回程度、2日程程度)		・中間共有会開催記録	・各団体同士の情報共有	・関係団体の参加	・関係者のご意見	・採択団体との情報共有によるネットワーク形成、活動意識の深化	
		5-4	事業化支援団体の活動の情報共有	富田	・地域循環共生圏全国事務局	・事業化支援団体の打ち合わせに年3回程度参加(原則オンライン開催、日程は全国事務局で指定、1回は現地開催を)	・全国事務局の求めに応じた制度設計への協力			・打合せへの職員参加	・職員の感想、知見	・関係情報共有による知見の集積	
		5-5	環境省・GEOC主催会合への参加:キックオフM、作業部会【2回】、共有会、事業形成会議、成果共有会	清本、富田	・採択団体、登録団体、過年度採択団体、取組関係者、本省、GEOC		・GEOCが主催するキックオフミーティング(1回、都内、2日程、6月)、作業部会(2回程度、1回当たり3時間程度、都内。)、共有会(1回、3時間程度、オンラインを想定)、共生圏PF事業形成会議(1回、3時間程度、オンラインを想定)、成果共有会及びネットワーキングイベント(1回、都内、2日程、3月)参加 ・キックオフミーティング及び成果共有会にむけての活動(採択)団体の資料作成等支援、当日の意見交換補佐	・参加による情報共有 ・資料作成等支援と意見交換補佐		・各会合への職員の参加	・関係者のご意見	・採択団体との情報共有によるネットワーク形成、活動意識の深化	
		5-6	卒業団体のフォローアップ調査:ヒアリング【1件】	富田	・中部EPO管内卒業団体、GEOC		その後の取組の進捗の把握について、卒業団体のオンラインヒアリング(1件程度)	・GEOCへのヒヤリング報告書			・GEOC等関係者のご意見	・PF事業の効果の共有	
		5-7	身近な自然資本の活用に関する意見交換会【2回】	清本、富田	・地域の自治体、企業、金融機関	・身近な自然資本を活用した地域づくりに関する意見交換会の実施、2回程度、30名程度		・身近な自然資本を活用した地域づくりに関する意見交換会開催記録		・参加者30名程度(2回)	・参加者の意識、ご意見や感想(アンケート、ヒヤリング)	・身近な自然資本を活用した地域づくりに関する意見交換結果の共有、ネットワークの形成	
		5-8	SH連携促進事業【4回】	清本、富田	・各省地方支部部局、経済団体、自治体、金融機関等	・情報交換会やワークショップ等の開催のための支援及び開催運営(4回程度、2時間程度)	・GEOCが開催する事業検討会議への参加(都内(オンライン併用)、1回程度、3時間程度。)	・情報交換会やワークショップ等開催記録(4回)		・参加者20名程度(4回)	・参加者の意識、ご意見や感想(アンケート、ヒヤリング)	・地域循環共生圏の創造促進のための情報の共有、ネットワークの形成	
		5-9	GEOC主催事業検討会議【1回】への参加	清本、富田	・GEOC、関係者		・GEOCが開催する事業検討会議への参加(都内(オンライン併用)、1回程度、3時間程度。)			・事業検討会議への職員参加(1回)	・職員の感想、知見	・地域循環共生圏の創造促進のための情報の共有、ネットワークの形成	

EPO中部令和5年度事業アウトプット目標等一覧

仕様書業務項目		業務内容(イベント:オンライン活用・併用)		担当	外部関係者とその役割	インプット(仕様書、計画書)		アウトプット(指標)			アウトカム		備考
						催事、情報発信	調査、研究、作成、支援	コンテンツ等、情報の発信、記録	設備・システム・知見など	参加者(数)、対象者(数)など	アウトカム指標(アウトプット評価に加え)	アウトカム(予想される成果)	
6	中部地方ESD活動支援センター運営業務	6-1	第6期ESD推進計画に基づく施策	原	・ESD関係者		・相談対応、情報発信(3基本業務)、6-2～6-10各事業でのネットワーク構築			・3基本業務、6-2～6-10のアウトプットに含む	・3基本業務、6-2～6-10アウトカムの第6期ESD推進計画との整合性	・第6期ESD推進計画推進の評価、ESD関係者とのネットワーク構築と知見の集積	
		6-2	地域ESD拠点等の活動支援	原、小松	・地域ESD拠点関係者		・地域ESD拠点情報交流、ESD拠点登録支援			・ESD拠点登録数 ・3基本業務に含む	・ESD拠点関係者の意見や感想(ヒヤリング)	・中部地方のESDネットワークの拡充	
		6-3	ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回(半日)】、ポスター作成	清本、原、小松	・地域ESD拠点関係者	・ESD推進ネットワーク地域フォーラム開催(1回)		・地域フォーラム開催記録		・ESD拠点関係者(20人程度)	・ESD拠点関係者の意見や感想(アンケート等)	・地域におけるESD活動の課題やニーズ、普及・啓発の効果的な手法等について参加者同士の共有	
		6-4	SDGs学生サミット【1回(半日)】、チェックリスト等の活用	清本、原、小松	・中部地方大学研究室、地方自治体等	・ESD/SDGs推進ネットワーク地域フォーラム中部学生サミット【1回(半日)ノオンライン】	活動分析へのSDGsチェックリストの概念活用	・開催記録		・サミット参加30名程度	・参加者の意識等(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
		6-5	自然資源を活用した地域・人づくりESDダイアログ【1回(2時間)】	清本、原、小松	・ジオパーク等、環境省地域資源(自然公園等) ・専門家等のゲスト:講演、話題提供、講演	・「自然資産を活かした地域・人づくりESDダイアログ」の開催【1回】半日程度		・ダイアログ開催記録		・参加者20名程度 ・専門家1名(大学准教授級)	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
		6-6-1	交流機会提供:活動計画の作成、交流者の参加募集、全国フォーラム結果報告	原、小松	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター、地域ESD拠点		・活動計画の作成 ・交流者の参加募集(全国センターのネットワークで調整) ・全国フォーラム結果報告(全国センターのネットワークで調整)	・活動計画書 ・活動報告書(全国フォーラム報告書)				・ESDネットワークにおける中部ESDC活動の情報共有と理解の促進	
		6-6-2	学び合いの実施:学び合いの場【2回】、SDGs社会教育WG【3回】、実践活動	清本、原、小松	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター、地域ESD拠点	・学び合いの場【2回】オンライン ・SDGs社会教育WG【3回】 ・実践活動【1回】				・学び合いの場【2回(各1.5時間)】のべ20名 ・SDGs社会教育WG【3回(各2.5時間)】有識者と実務者計4人 ・実践活動【1回(2時間)】20名	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・実績のある社会人ESDの情報共有による「ローカルSDGsのためのESDの社会実装」への貢献	
		6-7	「(仮)中部版ESDワークブック」の作成・公表	原	・有識者によるWG	・SDGs社会教育WG:有識者によるWGディスカッション(6-6-2)	・ワークブック作成のための調査、情報収集 ・実践的な冊子「(仮)中部版ESDワークブック」の作成公表	・「現場から学ぶ!SDGs人材育成ワークブック」(試行版)を元にした実践的な冊子「(仮)中部版ESDワークブック」コンテンツ ・ヒヤリング結果	・関連する実例、知見		・ワークブックについての運営委員など関係者のご意見	・ワークブックの活用による社会ESDの促進	
		6-8	教育現場の実態把握と連携強化:専門家【1名(2時間)】ノ教育関係者【2回(各2時間)】ノ中小企業経営者【2回】	清本、原	・SDGs、ESDに詳しい専門家 ・SDGs意思のある教育部局、教育委員会、現場の教員		・専門家への包括的ヒヤリング(オンライン、2時間程度、1回、大学教授級1名想定オンライン) ・教育関係者へのヒヤリング(オンライン、2時間程度、2回程度) ・経営者等へのヒヤリング(2回程度)				・ヒヤリング対象の感想 ・運営委員等の外部評価	・有意義な知見の入手 ・ESD,SDGs専門領域との連携強化	
		6-9	全国センターとの連携協力(地域循環共生圏への考慮)	清本、原	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター		・ESDの考え方をベースに、「地域循環共生圏」の人づくりのための域資源を発掘しと活用 ・活動状況調査等に対する情報・資料の提供等の協力・対応		・関係する情報、資料			・ESD全国センター等ネットワークとの連携	
	6-10	全国ESDセンターとの連携:作業部会【2回】、全国連絡会【2回】、全国フォーラム【1回】に出席・参加	清本、原	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター	会議出席・参加による情報収集と整理 ・企画運営委員会(オンライン、2回程度、各半日) ・全国・地方連絡会(オンライン、2回程度、各半日) ・ESD推進ネットワーク全国フォーラム(オンライン、1回、1日)		・参加による記録等の情報共有	・各会合への職員の参加	・中部ESD活動支援センター活動に反映させるべき知見	・ESD全国センター等ネットワークや施策動向の把握			
7	行動変容の把握	7-1	行動変容の把握:行事参加者へのヒアリング(3月中旬までに)【6事例】	清本、原、富田	・4から6の関係者	・行動変容のためのコアメンバーに対する簡易的ヒアリング(電話、メール等)	・行動変容のためのコアメンバーに対する簡易的ヒアリング結果		・行動変容のためのコアメンバーに対する簡易的ヒアリング(6事例程)	・ヒヤリング結果の分析と解釈	・地域循環共生圏構築行動など持続可能社会に貢献する行動変容		
		7-2	SDGs実践状況等の評価【試行2事例】	原	・関係する専門家等	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の情報収集と活用 ・月次報告書の作成	・地域SDGs評価試行の事例(2事例) ・月次報告書	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用実践		・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用効果に関する専門家意	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用による円滑な運営		
8	関係主体との連携及び協働に関する業務	8-1	事務所担当官と業務の責任者として定期的な打合せ、日々の業務を毎月報告	清本、原、富田、小松		・定期的打合せ(月1回以上)	・月次報告書の作成	・月次報告書		・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営		
		8-2	外部評価委員会への対応	原、富田		・中部地方環境事務所開催会議への出席、資料作成対応 ・第6期運営の3か年の達成状況の自己評価	・外部評価委員会対応資料 ・第6期運営の3か年の達成状況の自己評価書		・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営 ・EPO中部ESDCに対する適正な評価			
		8-3	白書を読む会の企画、広報、運営サポート協力【1回(3時間)】	富田		・白書を読む会の企画運営サポート	・企画運営サポート記録		・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営			
		8-4	全国ユース中部大会に参画【1回】、審査委員の選定	清本		・全国ユース大会への参画、審査委員選定	・全国ユース大会参画、審査委員選定結果		・選定審査委員	・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営		
		8-5	記者発表等報道対応	原、富田		・プレスリリース資料の作成、実施(必用に応じて)	・プレスリリース資料(必用に応じて)		・プレスリリース(必用に応じて)	・関係者の意見	・EPO中部の認知度の向上		
		8-6	GEOC主催PSTF会合【1回】ノ全国EPO連絡会議【3回】ノ情報交換会【1回】への参加・出席	清本、富田	・GEOC:全国EPO連絡会議開催	・協働取組の効果最大化に関する検討を行うパートナーシップタスクフォース(1回、開催場所はGEOCを想定)、全国EPO連絡会議(都内2回、地方1回、ハイブリッド開催を想定。)への参加。これらの進行管理連絡調整会議への必要に応じた参加。 ・持続可能な地域づくりのための情報交換会に参加する。(1回、都内(オンライ		・EPOネットワーク、全国情勢の情報	・各会合への職員の参加	・EPO中部に反映させるべき知見	・GEOC、EPOネットワークや施策動向の把握		
9	業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務	小松、小栗		・適正な支払い		・支払い記録			・会計部署の承認	・適正支出の明確化			
10	外部資金を活用した事業:地球環境基金ノ愛知県環境学習コーディネート業務	清本、小栗、小松、服部				・成果報告書			・ネットワーク形成	・EPO中部活動への貢献			
	成果物の提出:第1～3四半期報告書、第6期概要報告書、年間報告書(及び概要版)	原、富田、小松			・報告書の作成	① 四半期報告書 1部(A4版40頁程度 ホッチキス止め可 電子媒体(DVD-R)1式) 第1四半期分 令和5年7月14日 第2四半期分 令和5年10月20日 第3四半期分 令和6年1月26日 ② 第6期概要報告書 第7期の業務実施に向けて、第6期の業務実施内容を取りまとめた概要報告書(様式自由)、令和5年12月22日までに報告すること。 ③ 年間報告書 2部(A4版100頁程度、簡易製本可) ※上記の概要版:2部(A4版6頁程度、ホッチキス止め可)							